

ギカイだより



GIKAIDAYORI

contents

- 決算審査速報……………2
- 9月定例会の概要……………3
- 一般質問……………4～6
- 委員会レポート……………7～8
- 学校給食センター現地視察・開所式…9
- 防災訓練・ラジオ番組「みまい・ききまい・坂出市議会」放送中……………10
- 審議結果・変わりゆく坂出……………11



令和3年度 決算の審査速報

特別委員会を設置して決算認定議案を集中審議！！

市議会では、決算審査特別委員会を設置して「予算が適正に使われているのか」「それぞれの予算を使って取り組んだ事業は期待どおりの結果となっているのか」を審査します。

閉会中の継続審査として集中的に審査された決算認定議案は、12月定例会にて表決が行われる予定です。

一般会計

歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	実質収支額
263億1,105万円	254億2,572万円	8億8,533万円	7億7,310万円

特別会計(国民健康保険など8会計)

歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	実質収支額
133億7,136万円	129億4,393万円	4億2,743万円	4億2,743万円

企業会計(収益的収支の状況)

会計	収益	費用	損益
下水道事業	8億4,927万円	8億4,927万円	0円
病院事業	68億8,047万円	65億8,263万円	2億9,784万円

(万円未満を四捨五入)



一般会計実質収支額は7億7,310万円(前年度比約154.0%増)の黒字となりました。

総務費

庁舎管理、財務、選挙、地方振興など市の全般的な管理に要する経費

32億7,098万円

民生費

児童・障がい者・高齢者福祉や生活保護などに要する経費

74億9,015万円

衛生費

健診や予防接種などの健康づくり、塵芥・し尿処理などに要する経費

28億3,577万円

農林水産業費

農業・水産業の振興、地籍調査などに要する経費

4億1,475万円

商工費

商工業の育成、観光振興などに要する経費

6億8,539万円

土木費

道路や橋梁、公園、公営住宅の維持管理や都市計画などに要する経費

16億6,734万円

港湾費

坂出港等の港湾及び漁港の維持管理などに要する経費

6億5,380万円

消防費

消防や風水害等の災害防除並びに災害発生時の活動に要する経費

8億9,745万円

教育費

幼・小・中学校の管理運営や生涯学習・スポーツ、文化財保護などに要する経費

26億2,952万円

9月定例会の概要

9月定例会では、初日に市長から条例の一部改正案1件、補正予算案6件、その他議案1件、令和3年度の決算認定11件の計19件が提案され、決算認定を除く8議案について各常任委員会での審査を経て、いずれも原案のとおり可決しました。

最終日には人事案件2件及び議会運営委員会から提出された意見書案1件が追加提案され、原案のとおり同意・可決しました。また、任期満了に伴う坂出市選挙管理委員及び補充員の選挙を行いました。

(議案の審議結果は本ページ下段及び11ページをご覧ください。)



選択的夫婦別姓制度に関する議論を求める意見書

意見書全文

現行民法は、婚姻時に夫婦のいずれか一方の姓を改めることとしているが、家族の在り方も多様化し、女性活躍が推進される現代において、当該規定については社会的変化にそぐわないとの指摘がある。国においては、旧姓の通称使用の拡大に向けた取組を進めているが、戸籍姓との使い分けは煩雑であり、改姓を望まない者にとって根本的な解決にはならない。

こうした中、最高裁判所においては、夫婦同姓制度を合憲としつつも、夫婦の氏についての制度の在り方は国会の審議に委ねるとする判断を示している。

よって、国におかれては、多様性を認める社会、男女共同参画、基本的人権の尊重の観点から、選択的夫婦別姓制度の在り方について積極的かつ十分に議論されるよう強く要望する。

9月定例会で同意した人事案件【敬称略】

◎坂出市固定資産評価審査委員会委員の選任

池田 勉 木下 博文 奥條 博人 泉 武利 川原 正經 福家 壽男
赤尾 康造 高木 敏弘 守谷 三知代

◎人権擁護委員候補者の推薦

井上 賀博 野村 亮子 谷原 範保 安永 千鶴

9月定例会で選挙した人事案件【敬称略】

◎坂出市選挙管理委員及び補充員の選挙

委員… 松本 仁孝 横井 敬仁 河井 利夫 國時 由佳
補充員… 多田羅 久江 真部 幸代 木村 泰規 茶本 純子

一般質問



さいとう よしあき
斉藤 義明 議員
自民党市政会



ふるさと納税ポータルサイトの
拡充と魅力ある返礼品の充実を

Q 現在、寄附を受け付けるポータルサイトは2つであるが、サイトを追加してどうか。

A これまで「ふるさとチョイス」、「ふるぽ」の2つのポータルサイトで運用してきましたが、9月1日から「楽天」及び「ふるなび」の2つのポータルサイトを追加し、4つのポータルサイトでの運用を開始しました。

(政策部長)

Q 瀬戸大橋登頂ツアーや東山魁夷美術館の入場券をセットにした返礼品を取り入れるなど、本市らしい魅力ある返礼品を検討してはどうか。

A 瀬戸大橋登頂ツアーは本州四国連絡高速道路株式会社と協力いただき、10月頃には返礼品として追加できると考えています。美術館の入場券をセットにした返礼品は、観光と市内における宿泊や飲食を組み合わせたことにより、本市の観光振興や地域経済の活性化が図られることから、返礼品として提供が可能か検討します。

(政策部長)

民間事業者等との
連携協定等の推進を

Q A-1のスペシャリストである東京大学大学院教授松尾豊氏と本市の発展につながるような連携・協力関係を構築してはどうか。

A 松尾教授は、本市出身であり、日本におけるAI研究、特にディープラーニング(深層学習)分野の第一人者であります。

現在、政策アドバイザーの委嘱に向けた諸手続きを進めており、今後はデジタル人材の育成や本市の特色を生かし、AIを活用したまちづくりについて助言をいただくなど、実効性を伴う新たな取組を進めていきます。

(市長)

質問の主な項目

- ・ゼロカーボンシティの推進について



うへはら ゆたか
植原 泰 議員
市民と共に



運動部活動の地域移行推進を

Q 器具や施設、指導員などの確保についてどのように考えているか。

A 施設や器具の確保については、地域の活動団体や生徒のニーズを十分に把握しながら、整備・充実を図っていく必要があると考えています。

また、専門性や資質を有する指導者の確保も必要であり、地域の活動団体等と連携し、部活動の地域移行についての趣旨や運営方法、加えて資格取得や指導方法等に関する研修等について、体制を整えていく必要があると考えています。

教育委員会としては、部活動の地域移行に向けた協議会において、本市推進計画を策定し、計画的に部活動の地域移行に向けた施設・器具・指導者等の環境整備や実施上の課題とその対応について検討を進めていきます。

(教育長)

乳がん検診の対象者拡大を

Q 検診の対象者を30代前半に拡大している自治体もあることから、先進的な取組として本市でも実施してはどうか。

A 40歳未満の乳がん検診は、その効果や有効性が示されていないことや、偽陽性の場合は、結果的に不必要な精密検査を受け、身体的・心理的負担をかけるため、総合的に判断して40歳未満を対象としていません。しかしながら、近年30歳の罹患率が増えていることから、早期発見・早期治療の重要性が増していることも認識しています。

本市では、日頃から乳房の状態を意識する生活習慣を身につけていただくため、セルフチェックを体験する模型やパンフレットを用いて周知・啓発をしており、今後はさらに若い世代の女性に対しても周知・啓発を行い、早期発見・早期治療の推進に努めていきます。

(健康福祉部長)

質問の主な項目

- ・通学路の安全確保について

Q&A

一般質問



山条 真嗣 議員
さんじょう まさつぐ
自民党市政会



認知症の方と家族への 一体的支援事業の推進を

Q 厚生労働省は、認知症の方とその家族が共に活動・交流する場を一体的に支援する市町村認知症施策総合推進事業への補助を行おうとしているが、本市の取組はどのようなになっているか。

A 国が示す事業の概要では、実施場所の例として、認知症カフェや地域包括支援センターなどの既存施設等の活用が挙げられています。
本市では、認知症の方やその家族が、専門職への相談や地域住民と交流することができる場所として市内9カ所に認知症カフェ「さかいでオレンジカフェ」を開設しており、今後は、さらに、認知症の方やその家族との交流や活動を通じ、思いを共有できる場となるよう支援していきたいと考えています。

(健康福祉部長)

ランドセル症候群の改善を

Q 小中学校のランドセル症候群の改善として携行品に係る配慮についての通達が文部科学省から各都道府県に出されているが、本市では各学校・学級に対してそうした配慮が行き届いているか。

A ランドセル症候群を回避するためには、登下校時の携行品について、発達段階に応じた配慮が必要であると捉えています。本市教育委員会では、文部科学省の通知を受け、教材や学習用具の持ち帰りについて、日常的にかつ学期始めや期末における配慮や工夫を行うよう小中学校に周知しています。
小中学校とも日常の教科書の持ち帰りをできる限り減らすとともに、絵の具や習字道具などは持ち帰りをしないなど、対応が進められています。

(教育長)

質問の主な項目

- ・ 公民連携の取組について
 - ・ 職員の福利厚生について
- など



若杉 輝久 議員
わかすぎ てるひさ
公明党議員会



農業残渣の適切な処理方法は

Q 金時いもなどの収穫後には蔓などの農業残渣が発生しており、生産者側で処理に尽力しても、周囲に異臭等が発生するケースも見られている。市としてはどのような処理すべきと考えるか。

A 農業残渣の処理方法としては、生産者が収穫後、堆肥化した後、耕作地にすき込んでほ場に還元することが、最も望ましい方法であると考えています。
しかし、本市では、生産者が堆肥化させる過程で、環境保全、衛生面において、地域住民からの苦情も受けています。

金時いもは本市の特産物であることから、市としても、早期に、堆肥化に必要な期間の一時仮置き場としての代替地が確保できるようにJA香川県と協力しつつ、抜本的な解決方法などについても先進事例を参考に、調査・研究をしていきます。

(市長)

保育園等での紙おむつ処分を

Q 保育園等に真空パックの機器を導入し、使用済み紙おむつを保管、処分している自治体もあるが、本市でも園側にて処分できないか伺う。

A 使用済みの紙おむつについては、複数の保護者から「園での処分をお願いしたい」など、様々な意見や要望があることから、公立・私立の保育所・こども園において、適切に処分できるよう、保管方法・運搬方法・廃棄方法・廃棄に要する費用などを試算・検討し、「子育てしやすいまちづくり」実現のため、一括廃棄に向けた制度設計を早急に行い、できるだけ早く要望に応えたいと考えています。

(市長)



一般質問



茨 智仁 議員
自民党市政会



市立体育館設備の充実を

Q ソフトバレーボールの大会ではバドミントン用の支柱を流用しているが、競技に影響も出ることからソフトバレーボール用の支柱を購入してはどうか。

A ソフトバレーボール大会で使用している支柱については、バドミントン用の支柱にソフトバレーボール用の補助支柱を取り付けたものであり、ネットは、ソフトバレーボール用のネットを使用しています。

現在の支柱については、経年劣化が進んでおり、競技に支障があるとの意見も出ていることから、今後、順次更新していきます。

(教育部長)



命名権の導入を

Q 財源の確保という観点から、命名権の導入について見解を伺う。

A 命名権の導入は、施設の維持管理に充てる新たな財源の確保や、公民連携による地域の活性化の推進につながるものとして、有意義な制度であり、導入に向け取り組んでいきます。

一方で、近年の他自治体の導入状況としては、応募企業が不調となる事例も散見されることから、先進自治体で実施している市場性や適正な命名権料等を把握するサウンディング型市場調査の実施など、まずは、より効率的かつ効果的な導入方法について検討を進めていきたいと考えています。

(市長)

質問の主な項目

- ・子育て世代から選ばれるまちづくりについて



の が く み つ あ き
野角 満昭 議員
無所属



ピースロード2022イン香川に係る本市の対応は

Q 旧統一教会の関連団体が主催するピースロード2022イン香川に係る本市の後援の対応について伺う。

A 本市では、昨年度から後援を行っており、本年度においても当該イベントの掲げる「コロナウイルスの終息」、「日韓友好」及びウクライナ情勢等を踏まえた「世界平和」への啓発活動等に対して後援を決めたものです。また、事前に、県内全市が同様に後援をする、もしくは予定している状況も確認しています。

一方、本市としては、社会的に非難されている旧統一教会と関連しているという疑念が払拭できない事態となったことから、後援の取り下げを検討していたところ、ピースロード事務局から後援申請を取り下げの旨の申し出がございました。今後の後援については、関係団体も含め、より厳格に審査していきます。

(市長)

若年層を対象とした公営住宅を

Q 民間の賃貸住宅などを借り上げるなどし、低所得の若い年齢層向けに市営住宅を提供してはどうか。

A 本年度策定している「市営住宅長寿命化計画」では、若い年齢層の方々を対象としたものではありませんが、既存の民間賃貸住宅の活用についても検討しています。

また、若い年齢層向け住宅の提供については、人口増対策の観点からも、今後、先進地の事例等も参考に、調査・研究していきたいと考えています。

(建設経済部長)

質問の主な項目

- ・会計年度任用職員制度について

付託議案
2件全議案全会
一致で可決

総務消防委員会

自治体マイナポイント事業により、
坂出市独自のマイナポイントを付与します

コロナ禍において物価高騰に直面している市民の方に対する生活支援や地域経済の活性化、マイナンバーカードの取得促進を目的として自治体マイナポイント事業を実施します。

自治体マイナポイント申請時に本市に住民登録があり、マイナンバーカードを取得している方を対象に、1万円分のマイナポイントを付与します。

実施時期：11月頃

付託議案
7件全議案全会
一致で可決

教育民生委員会



不妊治療に対して治療費を助成します

令和4年度から公的医療保険の対象となった不妊治療について、既存の助成制度の見直しにより自己負担額が増加するケースがあることから、治療を受ける方の経済的負担の軽減を図るため、本市独自の助成制度を新たに創設します。

Q 県内他市町と比べても手厚い支援であると思うが、経済的理由で不妊治療を諦めないよう一人でも多くの方に当該助成金を活用していただくことが重要である。市民への周知方法はどのように考えているのか。

A 本市情報発信番組「かがやくさかいで」や市広報紙で周知したり、医療機関にも情報提供することで、周知徹底を図っていきます。

付託議案
1件 全会一致で
可決

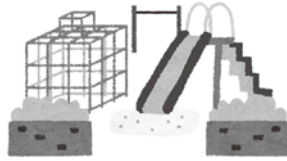
市民建設委員会



公園の公衆トイレを洋式化します

公園の利便性向上のため、下記の公園の公衆トイレを洋式化します。

- ・田尾坂公園
- ・聖通寺山公園
- ・西原公園
- ・かじや町公園



※聖通寺山公園では、トイレの洋式化に併せて樹木の間伐等も実施します。

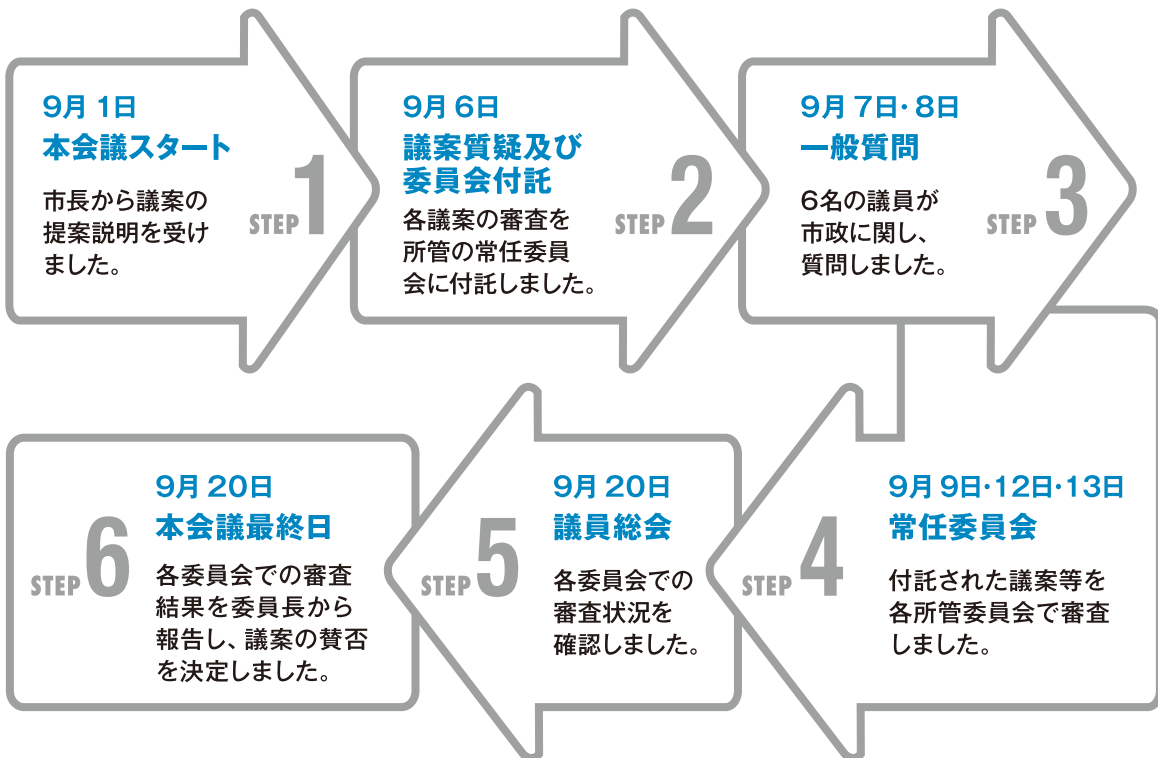


香風園の西門を整備します

観光地の再生に向け、西門の整備をはじめ、土橋や時雨亭・翠松閣の改修工事を実施します。



9月定例会の日程



現場視察

教育民生委員会が「学校給食センター」を視察しました!



教育民生委員会が7月26日に学校給食センターの現地視察を行いました。

本市初となるPFI事業として民間の資金とノウハウを活用し、安全安心でおいしい学校給食を実現するため、老朽化した調理場を統合して新たに給食センターを整備しました。

供給能力: 約4,000食/日

※アレルギー等対応食は約50食/日程度提供可能



広くて清潔な給食センターでたくさんの給食が作られるでおじやるよ!

学校給食センター開所式

8月4日に学校給食センターの開所式が行われました。

楠井議長は挨拶で、本施設が中心となり、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を子供たちが身につけられるよう食育を推進し、子供たちの元気な未来と一緒に守っていただきたいと述べました。



坂出市学校給食センター開所



祝 坂出市学校給食センター開所式



防災訓練を 実施しました。

9月定例会最終日に、議員及び議会事務局職員を対象とした防災訓練を実施しました。

昨年の研修を生かし、議員の安否・居所の確認、被害情報等の報告をタブレットを用いて実施しました。また、市議会災害対策会議を設置したという想定で、各議員から報告された被害情報について、どのように対応すべきか協議する訓練も実施しました。



ラジオ番組「みまい・ききまい・坂出市議会」放送中!!

昨年に引き続き、ラジオ番組「みまい・ききまい・坂出市議会」を放送しています。

市議会の仕組みや議員の活動をわかりやすくお伝えできるよう、広報広聴委員会で活発に議論しながら企画しています。ぜひご視聴ください。(FMサン76.1MHz「Weekdayみっくす内」とKBN地上111ch)

また、坂出市議会広報広聴委員会のSNS「ツイッター・フェイスブック・インスタグラム」を開設し、議会日程や議会のできごとを発信していますので、ぜひフォローをお願いします。

ラジオ番組のテーマや話題を募集していますので、右記SNSからご意見をお寄せください。



ツイッター



フェイスブック



インスタグラム



7/20



8/24

ON AIR



10/19



9/28

令和4年 9月定例会の審議結果

議員数=19名 表決参加議員数=18名 ※議長は表決には加わりません。

全議員が賛成した議案
(可決・継続審査・同意)

市長提出議案

予算	令和4年度坂出市国民健康保険特別会計補正予算(案)(第1号)など 5件
条例	坂出市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定
決算	令和3年度 坂出市一般会計決算認定など 11件
その他	特定事業契約の変更 坂出市固定資産評価審査委員会委員の選任など 2件

委員会提出議案

選択的夫婦別姓制度に関する議論を求める意見書

議案内容等の詳細は、
坂出市議会ホームページ
【提出議案等・審議結果】を
ご覧ください。



市長提出議案

議案第15号 令和4年度坂出市一般会計補正予算(案)(第3号)

原案可決に **賛成**

原案可決に **反対**

小笠原浩、植原 泰、寒川佳枝、丸岡豊和、山条真嗣、脇 芳美、東原 章
鳥飼年幸、若谷修治、斉藤義明、若杉輝久、茨 智仁、吉田耕一、村井孝彦
大藤匡文、前川昌也、大前寛乗

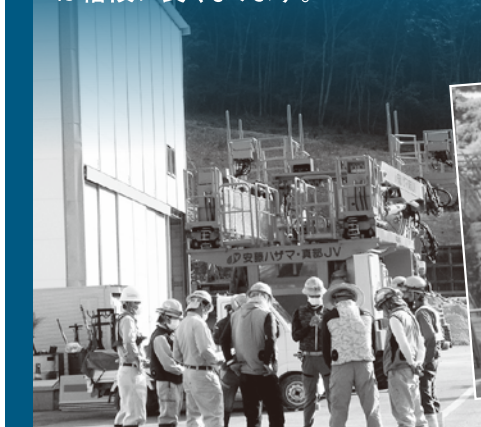
野角満昭

反対意見(要旨) マイナンバーカードの取得促進は、カードの利用価値を高める手法で行うべきであり、また、物価高騰に直面している市民への生活支援や地域経済の活性化については、マイナポイントの付与とは別に政策化し、全力で取り組むべきことであるから、自治体マイナポイント事業に反対である。

変わりゆく坂出 Vol.2 さぬき浜街道 4車線化

坂出から高松方面へ向かうさぬき浜街道の途中、青海町で道路の拡幅工事が始まっています。総事業費約90億円、内訳は新たなトンネル工事が56億円、道路拡幅などが34億円となっています。新トンネル建設は高松、坂出の両側から進める計画で、令和6年度の開通を目指しています。

さぬき浜街道は、坂出北インターチェンジがフルインター化されると、利用者の増加が見込まれることから、4車線化とフルインター化の完成が同時期になれば、交通の利便性は格段に良くなります。



撮影：前谷 博司氏



番の州堤防からのだるま夕日

だるま夕日は、温かい海面と冷たい大気との境目に光が反射して起きる、太陽の蜃気楼現象のひとつです。ここ番の州でも春先と中秋に見ることができます。

釣り人が、だるま夕日釣った!と言っているかのようです。

坂出駅に架かる虹

坂出駅周辺をすっぽりと包むかのように架かる虹。うっすらと副虹も見えていますが、大きすぎて納まりませんでした。

夕立ちが多い夏に出やすいといわれますが、秋から冬にかけても多く見られ、時雨虹と呼ばれます。



編集後記

早くも冬の足音が聞こえ始める時期になりました。今年は、夏が特別暑かったために、寒さが厳しい冬になるとの予想です。皆様におかれましては、体調管理に十分お気を付けください。

さて、今回のギカイだよりでは、9月定例会の概要を掲載しております。また、2学期より供用が開始されました、学校給食センターの様子も掲載しました。このセンターにより、今まで提供することができなかったメニュー（例えば焼き魚など）も提供できるようになりました。児童・生徒にとって、ますます給食が楽しみになることと思います。一日も早く、みなでおしゃべりしながら食べられる日が来るのを願ってやみません。

(丸岡)

広報広聴委員会 委員長……齊藤義明 副委員長……若杉輝久
委員……小笠原浩 植原 泰 丸岡豊和
協 芳美 吉田耕一 村井孝彦

次回開催は…
12月定例会を12月上旬
に、開催予定です。

